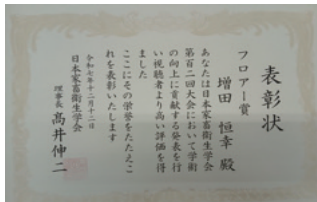




**病院長退任のご挨拶**：平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。このたび、岡山理科大学附属獣医学教育病院長を退任いたしました。在任中に賜りましたご厚情に、心より感謝申し上げます。後任には岡村 泰彦 教授が就任いたしました。引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。今後は一獣医師として診療に携わり、地域獣医療の発展に努めてまいります。略儀ながら書中をもちまして御礼申し上げます。(星 史雄)

## VMTH NEWS

**・学生の受賞**：2025年12月12日に開催された日本家畜衛生学会第102回大会・研究発表会において、獣医学科6年生の宮崎明里さんが、「耳標タイプ外部寄生虫駆除剤を用いた公共牧場における牛伝染性リンパ腫対策」の発表でフローア賞を受賞しました(試験と重なったため増田代読)。今回の受賞は日頃の研究の成果であり、今後のさらなる活躍が期待されます。(増田 恒幸)



**・第4回愛玩動物看護師国家試験**：2月15日に第4回愛玩動物看護師国家試験が実施されました。現役受験者56名のうち55名が合格(合格率98.2%)！試験は日々の学習の積み重ねが問われる内容であり、教職員としても対策講義に加え、学習環境を整える重要性を改めて実感しています。学生たちの努力の成果が表れた結果といえ、今後のさらなる活躍を心から祈ります。(宮部真裕)



**・第77回獣医師国家試験**：新卒86名が合格(合格率78.9%)しました。合格された皆さん、本当におめでとうございます。それぞれが積み重ねてきた努力は、今後の獣医師としての歩みにつながる大きな力になるはずです。これからの活躍を心より応援しています。(TS)

**・資格取得で強化する動物看護！**：愛玩動物看護師の和田が「臨床栄養指導認定愛玩動物看護師」、吉岡が「Royal Canin 栄養管理アドバイザー(アドバンス)」「Hill's フードアドバイザー(アドバンス)」、岩野が「Royal Canin 栄養管理アドバイザー(アドバンス)」、「ペットフード安全管理者」、安藤が「第二種滅菌技師」を取得。栄養指導やフードの安全管理、中材業務の専門知識を活かし、日々のケアの質向上と、安心して治療を受けて頂ける環境作りに努め、今後も研鑽を重ねてまいります！(安藤 真葵)



**・VMTHの研究論文**：2025年にVMTH関係者が発表した研究論文は、昨年より少し増えて39報(英文33報、和文6報)を数え、この他にも30篇の雑誌記事や書籍執筆がなされました。これらの研究成果は、VMTHの診療水準向上に大きく貢献し、獣医学部学生の教育にも良い影響を与えると確信しています。今後も臨床、研究、教育を三位一体で進めてまいります。(神田 鉄平)

**退職教職員 小野文子教授** 小野文子先生は、獣医学部開設時より9年にわたり、獣医保健看護学科の教育基盤の構築に尽力され、動物と人をつなぐ専門家の育成に取り組まれてきました。学生一人ひとりに寄り添う温かな指導は、多くの学生や教員にとって大きな支えとなりました。また、霊長類を対象としたプリオン研究では先駆的な成果を挙げ、国際的にも高く評価さ



れました。先生のご功績に深く敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を祈念いたします。(佐伯 香織)

**藤井 広志 事務長** 藤井事務長は、2018年の獣医学部開設時より今治にて勤務され、2025年4月から1年間、兼務で事務長としてご尽力いただきました。学部運営

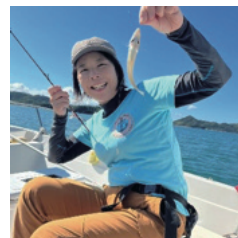


事務に加え、病院事務にも幅広く携わられ、多忙な日々を送られていました。今後もご趣味の読書で息抜きをされつつ、異動先でのさらなるご活躍をお祈り申し上げます。(片上 幸子)

**教員の昇任** 前田 憲孝准教授(外科)が教授に、水谷 真也 助教(外科)が講師に昇任されました。

## コラム1 船長 和田の釣り日誌 #16

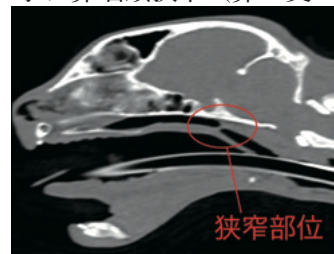
2025年10月13日晴天。大島近海。今回はシロギスを狙います。シロギスはその銀白色の美しい魚体と上品な味わいから、砂浜の女王と称される魚です。仕掛けは天秤仕掛け、2本針。餌は日本ゴカイ。細長い形状で見慣れない人は身構える虫です。餌をつけやすくする為片栗粉をまぶすと見た目も和らぎます。餌が海底をほうようにアピールし、誘いを入れると1時間ほどで満足する釣果となり帰港。天ぷらとお刺身で美味しくいただきました。(船長 和田(愛玩動物看護師長))



**VMTHの診療** 皮膚科では皮膚疾患や耳疾患を対象に、丁寧な問診と病変の観察、皮膚科学検査を行い、必要に応じて麻酔下でのオトスコープ(耳道内を観察する内視鏡検査)、生検(写真)、CT、聴性脳幹誘発反応(聴覚機能を評価する検査)などにより病態の把握に努めています。紹介元病院での処方・治療を継続しながら、

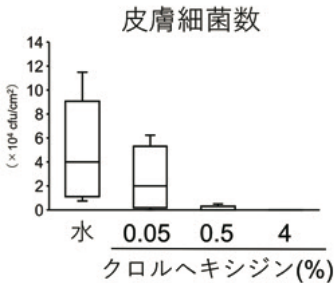
定期的にVMTHを受診していただき治療方針を相談することも可能です。特に耳疾患は慢性化すると耳道狭窄により検査や治療が難しくなるため、早めのご相談・ご紹介をお願いいたします。(松田 彬)

**VMTH Case Report** 4歳の雑種猫、去勢雄が、鼻詰まりで呼吸が苦しうとのことで来院。猫ではウイルス性鼻気管炎(いわゆる猫風邪)などの炎症により鼻が詰まることがあります。鼻の中は評価が難しく、CTや細い内視鏡が役立ちます。この子は鼻咽頭狭窄(鼻の奥の通り道が狭くなる状態)(写真)が見つかり、内視鏡で観察しながらバルーンで狭くなった部分を広げる処置を行い、症状は改善しました。鼻腔からはヘルペスウイルスと耐性菌が検出され、猫風邪と二次的な細菌感染が関与していると考え



られました。鼻咽頭狭窄は再発しやすいため、ご家族や紹介元の病院と連携した長期的な管理が重要となります。(酒井 治)

**OUS-VET Article** Matsuda A, Nakamura Y, Itoi T, Arai K, Kutara K, Sugimoto K, Maeta N. Daily topical application of chlorhexidine gluconate to the skin in dogs and its impact on skin barriers and cytotoxicity. J Vet Med Sci. 87(3):257-262, 2025. 昨年発表された新ガイドラインで、犬の表在性膿皮症(皮膚表面の細菌感染)治療は、飲み薬の抗菌薬ではなく、外用療法が第一選択であると示されました。外用療法にはクロルヘキシジン(商品名:ヒビテン)という消毒薬がよく使われますが、毎日皮膚に塗る場合に適した濃度はわかっていませんでした。私たちはビーグルを用いて実験を行い、0.5%に薄めると2週間毎日塗っても皮膚に悪影響がなく、しかも抗菌性は十分である(図)。今後もさまざまな治療法について科学的根拠を明らかにしていきたいと思



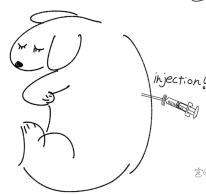
います。(松田 彬)

**産業動物診療科だより** 産業動物診療科では、ヤギの外来診療も行っています。ヤギはペットとして庭や畑で飼われることが多く、身近に生えている植物を食べてしまい、中毒を起こすことがあります。今回、アボカドの葉や樹皮(写真)を食べた群で集団発生(1頭は急死)が認められました。アボカドはヒトでは無毒ですが、反芻類では心臓の障害により呼吸困難や肺水腫、突然死を引き起こすことがあります。国内での報告はこれまでありませんでしたが、実は愛媛県はアボカドの産地でもあり、庭木として植えられていることもあります。ヤギを飼われている方は、周囲の植物にご注意ください!(井上 陽一)



**研修獣医師の日常 #2** 麻酔科にて様々な麻酔を担当しています。ある日は開胸による肺腫瘍切除手術で、肋骨の間を切開し、必要に応じてさらに胸側の中央を開けるといふ術前計画でした。手術麻酔においては、痛みのコントロールがとても重要です。肋骨と胸側の両方からの痛みの遮断のため、神経ブロックの一つである胸椎硬膜外麻酔(Thoracic Epidural Anaesthesia; TEA)を実施しました(写真は麻酔注射のイメージ)。強い痛みが想定される手術でしたが、痛みを疑う反応を一度も認めることなく手術を終えられました。VMTHでは様々な方法での鎮痛に力を入れています。(宮崎 匡史)

Thoracic Epidural Anaesthesia (TEA)



**コラム2 診療のあとは、ラーメンです。 #4**

2025年12月末、今治に待望の家系ラーメンのお店「横浜家系ラーメン一門家 今治店」が開店しました!硬め濃いめ多めのコラーで(麺の硬さと、味の濃さと、脂の量の好みを調整できます)、こってりスープにニンニクをガッツリ入れて啜れば、背徳感たっぷり。深夜の家系ラーメンってどうしてこんなに美味しいんでしょうか。もちろんライスも必須です。24時まで営業しているので、仕事の後や飲み会の締めにも便利!(佐藤 愛実 <AiCVIM レジデント>)



**VMTHの診療機器** 脳や脊髄の病気を調べるうえで欠かせないMRI検査ですが、装置の中は狭く音も大きいため、犬や猫がじっとしていることは難しい検査です。そのため検査は全身麻酔で行いますが、MRIは強い磁場を用いるため通常の麻酔機器やモニターは使用できません。VMTH麻酔科では、MRI検査に伴う麻酔リスクをできるだけ低くするため、MRI室内でも使用できる専用モニター(Philips Expression MR400、写真右)を用い、心拍数や血圧、呼吸、体温などを綿密に見守っています。MRI検査時の麻酔についてご不安な点がありましたら、いつでもご相談ください。(神田 鉄平)



**コラム3 しまなみサイクリング日記 #2**

クライマーの皆様、お待たせいたしました。今回紹介するのは、前号の来島海峡大橋を渡り最初の島、大島です。大島のルート(ブルーライン)としては、一般的なコースである島中央を通るルートと、外周ルートがあります。中央ルートでは比較的勾配は緩やかですが、外周ルートでは海沿いの綺麗な景色や、斜度10%の田浦峠が見どころとなります。その他、名所である亀老山は、最大斜度15%と人気のヒルクライムスポットとなっています。(酒井 治)



**VMTHの愛玩動物看護師** 動物看護を提供するには、専門的知識だけでなく、気付きや直感といった感覚も重要です。VMTHでは、動物の様子から感じ取る”なんとなく違う、おかしい”という直観的な感覚を「満足度評価\*」として数値化する取り組みを新たに導入し、状態把握や情報共有へ活用しています。右のQRコードから、満足度評価に関する解説記事をご覧ください。こうした取り組みを通じて動物看護の発展に貢献できるよう、愛玩動物看護師一同、動物たちにご家族に寄り添う動物看護を目指し、日々研鑽を重ねています。(清水 夕貴)  
\*佐伯と小野沢、入院動物の満足度を評価するための新しい方法を考える(2023)



**コラム4 #6 俳壺逍遥遊 森川大和**  
うりずんの  
ガマ胎内に蹲る  
仕事で沖繩へ行った。時は「うりずん」。春の瑞々しい一時。少し時間があがり、本島南部の戦跡をめぐり、ガイドと共に自然洞窟の「ガマ」に入る。奥行き約300mの広々とした鍾乳洞に佇む。まるで竜か神か、巨大な存在の胎内を思わせる。懐中電灯を消せば、漆黒の闇。そこに赤子のごとく小さく蹲る。ここは沖繩戦では野戦病院となった。仰臥のまま命を落とした兵士もあつたろう。ガマは古来より風葬の地でもあつたという。生と死が混然一体となる聖域。

**編集のつぶやき**

・今号ではヤギの中毒症例をご紹介しました。アボカドは身近な食べ物ですが、ベルシンという成分により、人以外の多くの動物(犬や猫、鳥を含む)に中毒を引き起こします。暖かくなり、庭や畑の植物が身近な季節となりました。思いがけない誤食を防ぐためにも、身の回りの植物を見直すきっかけになればと思います。(TS)

岡山理科大学獣医学教育病院  
〒794-8555 今治市いこいの丘1-3  
TEL:0898-52-9001, FAX:0898-52-9211  
E-Mail: vmth@vet.ous.ac.jp  
URL: https://www.vmth.ous.ac.jp